

地域材利用緊急対策支援事業 北海道産カラマツ材による2×4  
工法住宅に向けたディメンションランバーの普及に向けた開発

株式会社 サ ト ウ

1. はじめに

北海道の人工林資源であるカラマツは、材質面でのネジレやヤニなどの欠点事項により、過去から坑木などの土木用途や、梱包材・パレット材などの産業用途としての利用が主体であった。しかしながら直近では加工技術・乾燥技術の著しい進歩と、製造者の弛まぬ努力や、世界的な木材需要の変化に伴う供給不安、価格の変化、加えて地球環境温暖化防止の一躍を担うべくして、国産材利用見直しによる各種補助制度等々の拡充を追い風に、その需要先は拡大しております。

しかしこれらの新規需要についても構造用合板や構造用集成材としての利用に留まっており、無垢材としての利用については、未だ大半は産業用途が主体となっております。

この度の事業では将来的に地域の製材工場が、無垢での建築材として製材品を開発・生産・販売していくことを目的としております。

無垢材に拘る理由としては合板工場や集成材工場だと、その設備に巨額な資金を必要とすることや国内需要を視ても、現時点で現存する工場で供給過剰感が否めないことなどがある。

これに対して今回の事業の対象である2×4工法用製材については、北米・カナダ産で略100%の供給量となっていること、構造体の多くが無垢材であること、比較的小断面材が多いことなどでカラマツ（その他の国内針葉樹人工林も同様）の入り込める可能性があるかと判断した。

更に当地北海道については新築戸建住宅の3割以上を、十勝地方については5割以上が2×4工法で建設されている実績があることで需要量についても期待できる。

そこで本事業では北海道産カラマツ2×4工法用製材の物性試験で本来の性能を確認し建築供用試験で成果品を住宅に試験採用させて評価を確認することとした。